

CONTAINER FOR PHOTOSENSITIVE MATERIAL STRIP ROLL

Patent Number: JP8015825
Publication date: 1996-01-19
Inventor(s): BASCOMD GREGORY LESSELY
Applicant(s): MILLIKEN RES CORP
Requested Patent: JP8015825
Application Number: JP19940146829 19940628
Priority Number(s):
IPC Classification: G03C3/00; D04B21/20
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To provide a container using teremp cloth low in cost.

CONSTITUTION: This container for a photosensitive material is provided with the cloth of warp knitts 12 and 14 and inserted weft on the opening 22 for preventing light and the photosensitive material inside the container from getting closer. The warp knitts 12 and 14 and the inserted weft 16 are dyed, dried, napped, nap-cutted and heat-set before being provided on the opening.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

Japanese Unexamined Patent Publication No. 8(1996)-15825

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-15825

(43) 公開日 平成8年(1996)1月19日

(51) Int.Cl.⁶

G 03 C 3/00
D 04 B 21/20

識別記号 550 J
府内整理番号 Z

F I

技術表示箇所

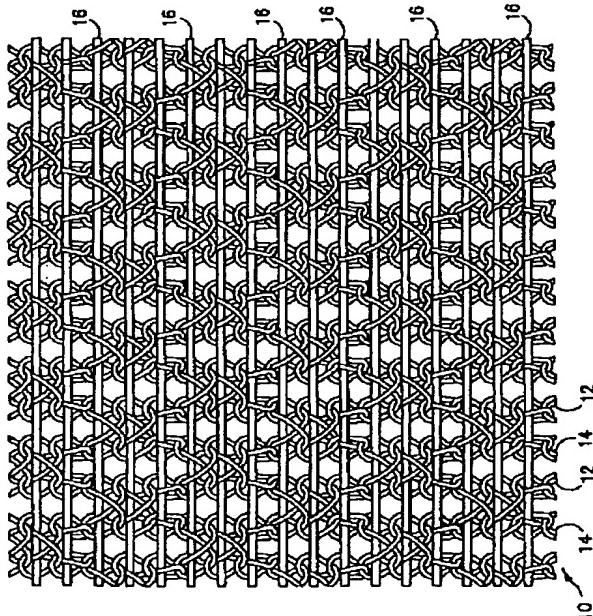
審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全4頁)

(21) 出願番号	特願平6-146829	(71) 出願人	390028576 ミリケン・リサーチ・コーポレーション MILLIKEN RESEARCH CORPORATION アメリカ合衆国 サウス・カロライナ州 29304, スパートンバーグ, ピー・オー・ ボックス 1927
(22) 出願日	平成6年(1994)6月28日	(72) 発明者	バスカム・グレゴリー・レスリー アメリカ合衆国、サウス・カロライナ州 29671、カウンティー・オブ・ピッケンズ、 ヘリテージ・ドライブ 108

(54) 【発明の名称】 感光性材料ストリップのロール用容器

(57) 【要約】

【目的】 低コストのテレンプ布を用いた容器を得る。
【構成】 その開口に縦糸編みと挿入された横糸の織物を有し、光と容器内の感光性材料とが近接することを防ぐ感光性材料用容器。縦糸編みと挿入された横糸は、その開口に設けられる前に、染色、乾燥され、けば立たされ、けばを切られ、ヒートセットされる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 感光性材料ロール用容器であって、前記容器から感光性材料を引き出すための開口と、前記開口に設けられたテレンプ布とを具備し、前記テレンプ布は、縦糸が編まれ、横糸が挿入された織物であり、そこから持ち上げられた纖維を有し、前記容器の開口に光が入ることを防止する感光性材料ストリップのロール用容器。

【請求項2】 前記テレンプ布は、2本のバーの織物である請求項1に記載の容器。

【請求項3】 前記テレンプ布の縦糸は実質的に100%ポリエステルである請求項2に記載の容器。

【請求項4】 前記挿入された横糸は、ポリエステルヤーンである請求項3に記載の容器。

【請求項5】 前記横糸は、スパンステープル長さヤーンである請求項4に記載の容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、フィルム引き出し口に付けられたテレンプ布を有するフィルム容器に関する。

【0002】フィルム容器、特に写真フィルム容器は、2つのグループ、すなわちシートフィルム用カセット及びロールフィルム用カートリッジに分類される。このフィルム容器は、フィルムが早まって露光されることから防ぐために、各々フィルムを引き出す開口部に光保護部材を有する。この布製の光保護部材は、テレンプ布と呼ばれる。

【0003】このテレンプ布は、フィルムの不所望な露光を十分に防ぐことができるよう黒い。また、テレンプ布は、フィルムを引き出したり、巻き戻したりする際に、損傷しないように柔軟である。

【0004】本発明の目的は、比較的簡単な方法によって低コストで製造され、糸がゆるんだり、すり切れたりするような問題のないテレンプ布を有するフィルム容器を提供することにある。

【0005】本発明の前述の目的は、本発明に係る編物構造を有し、そのフィルム容器の引き出し口につけられたテレンプ布を含むフィルム容器を設けることにより達成された。

【0006】本発明の他の目的及び利点は、添付の図面を参照して本発明を続けて説明する明細書として容易に明白になる。

【0007】図1を見ると、編機のバー1に編まれた第1の縦糸12と、編み機のバー2に編まれた第2の縦糸14と、挿入された横糸16とを有する2本のバーで編まれた編物10が表されている。編まれた後の編物10は、編機を離れて広い幅で、その後連続的に染色し、乾燥し、けばを立て、けばを切り、及びヒートセットして所望のテレンプ布17を製造される。ヒートセット後、織物を、所望の大きさに切断して好適な手段により感熱材料容器24の開口22の内面18および20に接着す

る。パイルファイバー26は、けば立たせて、けばを切ることによって持ち上げて、容器24の開口22中に光遮断材料を提供する。

【0008】好みの形態においては、縦糸、挿入された横糸は、2本のバーを用いてラッシュ (R a s c h e l) 縦糸編機で編まれる。図3に示すように、バー1し、2-3、2-1、1-2、1-0、1-2、2-1のように網、図4に示すようにバー2は、1-0、1-21、2-1、2-3、2-1、1-2と編み、図5に示す織物を形成する。横糸16は、バー1とバー2が上述のように編んでいる間に挿入されるので、得られた折り物は、けば立たせ、けばを切った後、図1に示すようになり、図2に示すような機能を果たす。

【0009】好みの縦糸は、40デニールの27フィラメントポリエステルヤーンであり、必要であれば、多数の縦糸を用いることができる。好みの横糸は、4つよりの100デニール100フィラメントノポリエステルヤーンまたは20/2(綿番手)のスパンステープルポリエステルヤーンのいずれかである。たの糸を使用することもできるが、これらの2つは、けば立たせ、けばを切った後にテレンプ織物として最適であると思われる。

【0010】本発明においては、横糸を挿入され縦糸が編まれた構造を有するテレンプ布が使用される。また、テレンプ布の製造中に、むだなパイルヤーンはできず、フィルムカートリッジの引き出し口でフィルムと接触したとき、テレンプ布からどの糸もゆるまない。

【0011】編み速度は、テレンプ布の製造速度と同じ位の回数で、編まれたテレンプ布には、接着剤を使用する必要はない。このように、本発明によれば、テレンプ布を有するフィルムカートリッジを、従来のテレンプ布を用いるフィルムカートリッジと比較して非常に少ないコストで製造することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】新規の改良されたテレンプ布の図。

【図2】従来のフィルムカートリッジパックの出口につけられた新規のテレンプ布を部分的に示す図。

【図3】図1及び図2のテレンプ織物を製造するための縦糸編機のバーの動きを表す図である。

【図4】図1及び図2のテレンプ織物を製造するための縦糸編機のバーの動きを表す図である。

【図5】図1及び図2のテレンプ織物を製造するための縦糸編機のバーの動きを表す図である。

【符号の説明】

10…編物

12…第1の縦糸

14…第2の縦糸

17…テレンプ布

22…開口

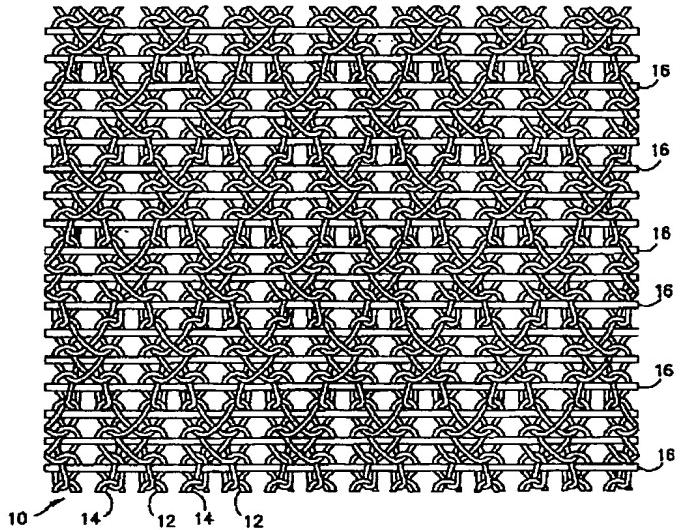
24…感熱材料容器

(3)

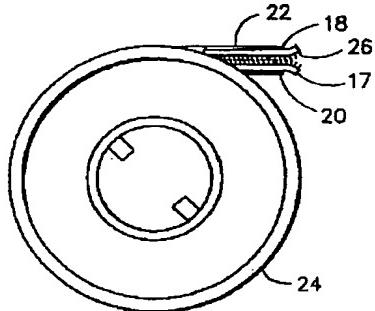
特開平 8-15825

26…パイルファイバー

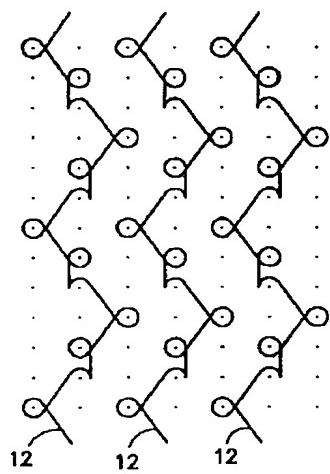
【図 1】



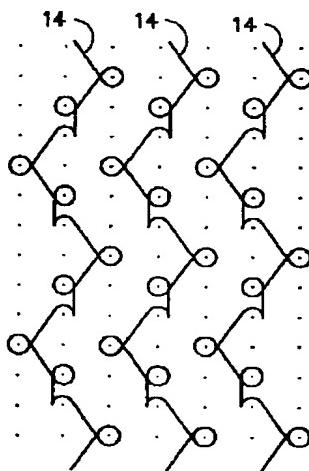
【図 2】



【図 3】



【図 4】



(4)

特開平 8-15825

【図5】

